

エンジン始動異常(セル回るが始動しない)

機種: 9-14Gs/9-16Gs

セル回るが始動しない

燃料は入っているか？

Eになっている

燃料補充する

はい

燃料コックは「開」になっているか？

いいえ

燃料コックを「開」にする

はい

燃料ポンプは動作しているか？

はい

以下を確認する
①始動時、ポンプ動作音がするか？
②キャブレター前で配管を外し、
始動させた時際に燃料が噴出され
るか確認する

ハイテンションコードの接続状態
(右図参照)

不具合有り

ハイテンションコード
処置実施

不具合無し

1

燃料計

E(燃料が空を示す)

F(燃料が満タンを示す)



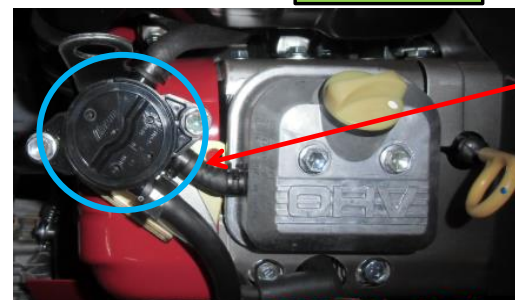
燃料コックレイアウト



「開状態」

「閉状態」

燃料ポンプ



燃料ポンプ

エンジン始動異常(セル回るが始動しない) 機種:9-14Gs/9-16Gs

1

チョークをめいっぱい引いた状態でエンジンを回す。その後エンジンプラグを取り外して電極の状態を確認する。
判定1: 電極が濡れていれば燃料供給系は問題無し。
判定2: 乾燥している場合には燃料が供給されていない可能性があるため、フロート確認～インジェクション回り迄燃料供給系を調査する事

判定2の場合

キャブレターに不具合の可能性があるため、各エンジンマニュアルに記載のキャブレターの項目を参照し対応して下さい。

判定1の場合

外したプラグをエンジンのボディーに接触させた状態でクランキングさせて、スパークの有無を確認する

スパークしない

スパークプラグを別の物と交換しエンジンボディーに接触させ、クランキングしてスパークするか確認。

スパークする

- ①スパークプラグの緩み
- ②シリンダヘッドボルトの緩み
- ③シリンダヘッドガスケットの吹き抜け
- ④バルブクリアランス不良を確認する

スパークしない

スパークする

プラグをエンジンに取付け始動するか確認する。

グラウンドワイヤーターミナルを外して再度スパークの有無を確認

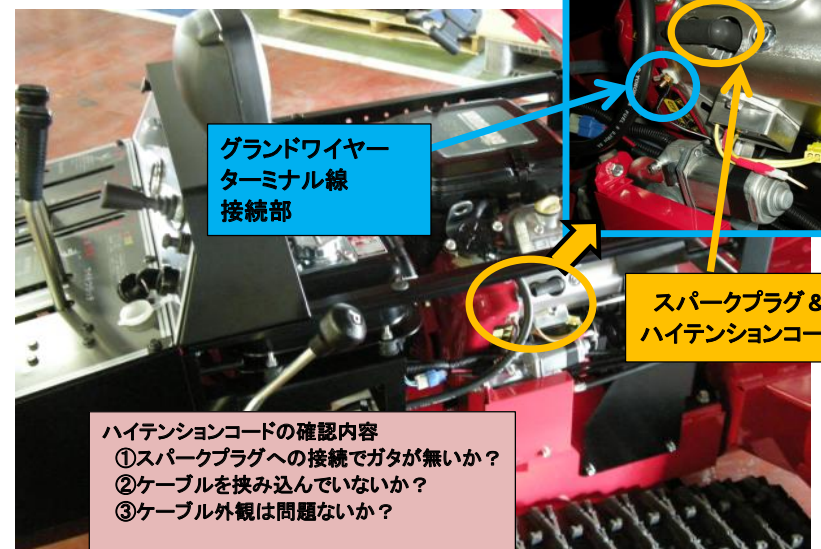
スパークしない

スパークする

グラウンドワイヤーターミナルがエンジンに接触している箇所を調査・対処する。
(キースイッチ側も確認)

- 以下を確認し、場合により処置実施。
- ①フライホールキーの切断
 - ③アマチュアエアギャップが広すぎる
(適正値0.2～0.3mm)
 - ④アマチュアコイルの断線

ハイテンションコード接続箇所と確認内容



ハイテンションコードの確認内容
①スパークプラグへの接続でガタが無い？
②ケーブルを挟み込んでいない？
③ケーブル外観は問題ない？

スパークプラグ電極状態確認

電極部の状態を確認し、燃焼室内の燃焼状態を推測する。

- (1) 極端に白い場合: 下写真 A状態
①混合気が薄い ②過負荷状態 ③オーバーヒート状態
(2) 適正な状態: 下写真 B状態
(3) 黒くカーボンが付着(濡れている)場合: 下写真 C状態
①混合気が濃い ②エアクリーナーの詰まり
③電極部GAPが広すぎ
以上が要因の一例として考えられる。

